

## 意欲をもち、みんなで運動を楽しむ 益山っ子の育成

### 南さつま市立益山小学校

全校児童数	160名(男子87名 女子73名)		
全クラス数	7	教職員数	13
運動部活動数		運動部活動参加率	

#### 取組時の課題と目的

##### 1 取組時の課題

体力・運動能力調査の結果から、運動に対する興味や運動能力が二極化した傾向が見られた。好きな運動は球技が中心で、固定施設などを活用した器械運動を苦手とする児童が多い。

また、教科体育の指導が得意でない教員もいるため、基本的な教科体育の指導過程を統一する必要がある。

##### 2 取組の目的

- 体力・運動能力調査の分析を生かした教科体育の指導過程の作成・実践や運動のコツをつかませるための指導法の工夫を行うことで、意欲をもち、みんなで運動を楽しむ児童を育成する。
- 体力ナビや体力アップカードを活用し、教科外体育に取り組みさせることで、意欲をもち、みんなで運動を楽しむ児童を育成する。
- 保護者や地域と連携し、学校外でも運動に慣れ親しむことができる環境をつくることで、意欲をもち、みんなで運動を楽しむ児童を育成する。

#### 取組の内容

##### 1 教科体育の取組

- 指導過程の作成・実践
  - 体力・運動能力調査の分析の結果、握力が全学年で劣ることから、補強運動として、固定施設を活用したサーキットトレーニングを指導過程に取り入れ、実践している。
  - 授業中の運動量を確保するため、活動時間を20分以上という目標を設定し、実践している。
  - 学び合い活動や自己評価の時間を確保し、実践している。
- 指導法の工夫
  - 児童が主運動のコツをつかめるように視覚的教材の提示の工夫を行っている。
  - 運動量の確保や児童の課題を解決するための多様な場の工夫を行っている。
  - 学習の流れや主運動のコツが分かり、話し合い活動にも活用できる学習カードの工夫を行っている。

##### 2 教科外体育の取組

- 体力ナビの活用
 

体力ナビを活用することで、自分の実態を把握させ、意欲的に体力向上の取組を行わせている。
- 体力アップカードの作成・活用
  - 固定施設を活用した運動について、イラストで分かりやすく示した体力アップカードを作成し、活用することで、児童の意欲の向上を図っている。

- 「体力アップ！チャレンジかごしま」へ積極的に参加している。

##### 3 家庭や地域との連携の取組

- 家庭との連携
  - 「我が家の家訓」や「我が家のパワーアップ大作戦」を作成し、一家庭一運動に取り組みさせている。
  - 「我が家の家訓」や「我が家のパワーアップ大作戦」の取組に対して、2か月に1枚の反省用紙を配布し、記入させることで前月との比較ができるようにしている。
  - 学校保健委員会で、体力・運動能力調査の結果を伝えている。また、講師を招聘し、親子で簡単にできる運動を紹介している。
- 地域との連携
 

南さつま消防署や南薩東京社の陸上競技部の方々に、基本的な走り方の指導や持久走の試走・持久走大会の伴走をしていただいている。

##### ●工夫したこと

- 視覚的教材の提示の工夫
 

児童が主運動のコツをつかめるように技の連続したイラストや動画を取り入れ、視覚的に分かりやすいようにした。
- 体力アップカードの作成・活用
 

固定施設を活用した運動に級を付けた体力アップカードを作成し、全学年で取り組んだ。
- 家庭との連携の工夫
 

「我が家の家訓」や「我が家のパワーアップ大作戦」を活用し、一家庭一運動に取り組んだ。

##### 取組の成果

- 指導過程の作成・実践や指導法の工夫をすることで、運動量を確保し、児童に運動のコツをつかませることができた。
- 体力アップカードの作成・活用をすることで、児童が意欲的に体力向上に取り組むことができた。
- 家庭との連携を工夫することで、運動に取り組む家庭が増えてきた。

##### 今後の課題

- 各学年の体力・運動能力調査の結果を分析し、経年比較することで、今後の授業改善に生かすとともに、本校児童の体力・運動能力の向上を図る。
- 各学年の学習内容の系統性を明確にするとともに、実施時期や時間割を工夫し、授業準備や片付けの効率化を図る。
- 児童の運動に対する意欲を持続させるための手立てを考えることが必要である。